

曹全碑



(曹參夾) 輔王室。世宗廓土斥竟。子孫遷于雍州之郊。
 曹參王室を夾輔せり。世宗土を廓め竟を斥くや、子孫雍州の郊に遷り、

条幅臨書部は半紙臨書部と連動
 しています。半紙に取り組んだ
 方は是非条幅にもチャレンジし
 てください。また条幅だけ出品
 も大歓迎です。

▽字詰め自由。

▽落款は「〇〇臨」と調和を

工夫し書き入れる。

▽出品料五二五円。



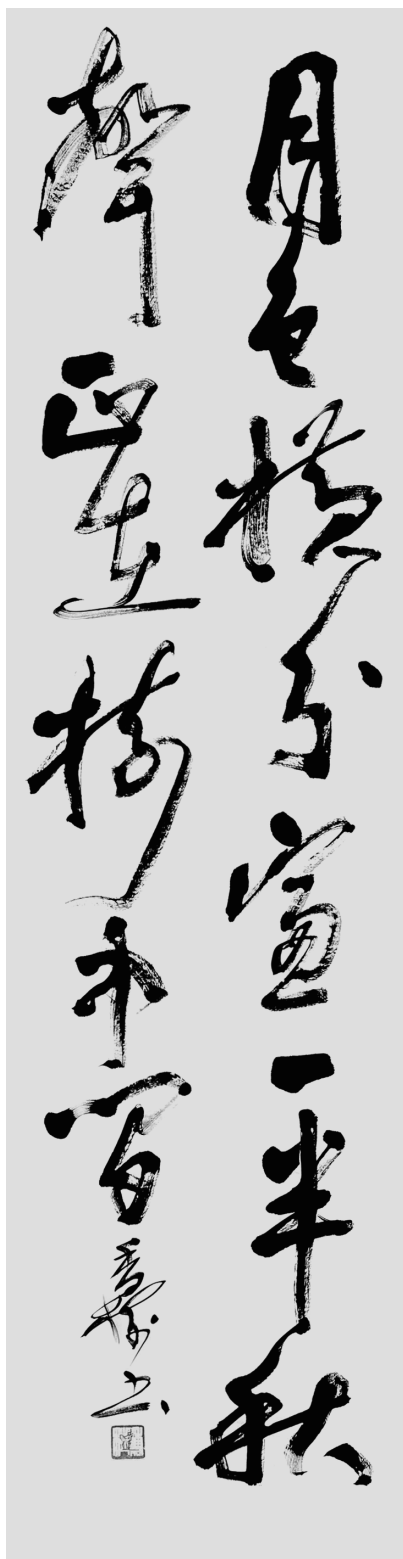
◆注意 ・条幅臨書部の出品はバーコード券右空欄に条臨と記入する。

A

高橋香樹主幹書

月色横分窓一半 秋聲正在樹中間(陸游)
月色横分す窓の一半、秋声正に樹の中間に在り。

訳：月の影は横さまに窓の半分をてらし、秋の声はまさに樹木の間にかかるのを聞いた。



B

鈴木静村書

草書を主とする作としました。二字連綿四ヶ所。但し、「月色」、「横分」、「半秋」の連綿は同じような動きになった。工夫して戴きたい。墨継ぎは「一」と「正」、「横」で横幅をとる。木偏の縦画は少し浮いた。一行目と二行目の出入りと行の流れに意を用いた。



墨継ぎはご覧の通り、「一、樹」。月 点を右に寄せた形、空気が流れ明るい。色 点は最後に打つ。横分 草書で連綿。窓 点に変容を。一 ややクドイ、サッパリがよい。半 タテ画で勝負、ビクビクしない。聲 草書体の典型。正、在 カスレ放しではなく、所々に墨の現われを。樹 末画の点は少々上方へ。中間 連綿線は強く「間」に入る。

予告 (一月二十二日締切)

牀前看月光

疑是地上霜

舉頭望山月

低頭思故郷(李白)

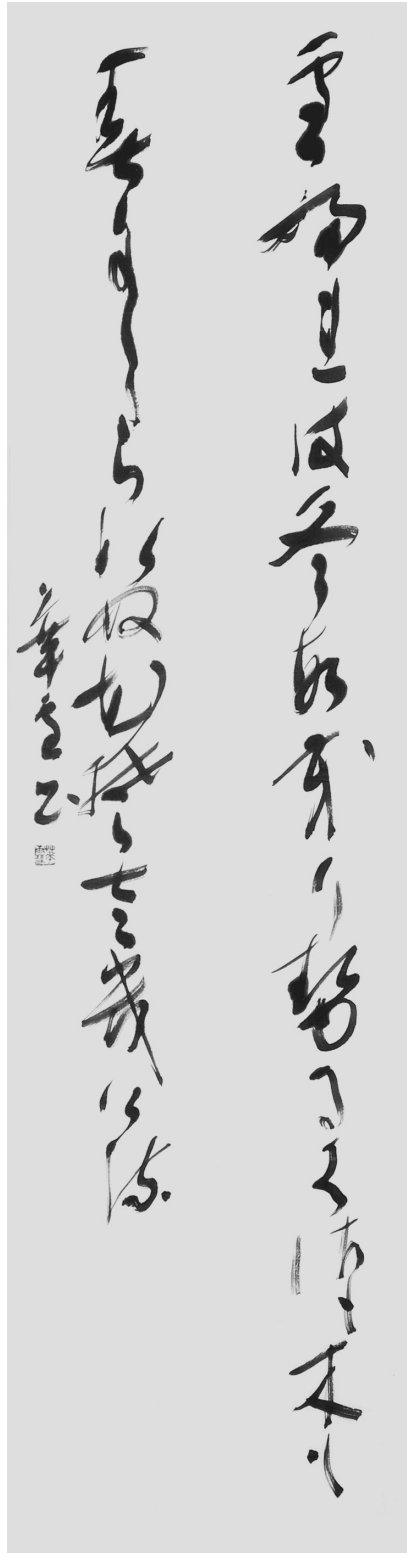
◆注意

- ・条幅部の出品は一人一点 (バーコード券の条漢を○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品 (バーコード券の条漢を○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

A

平岡華雪先生書

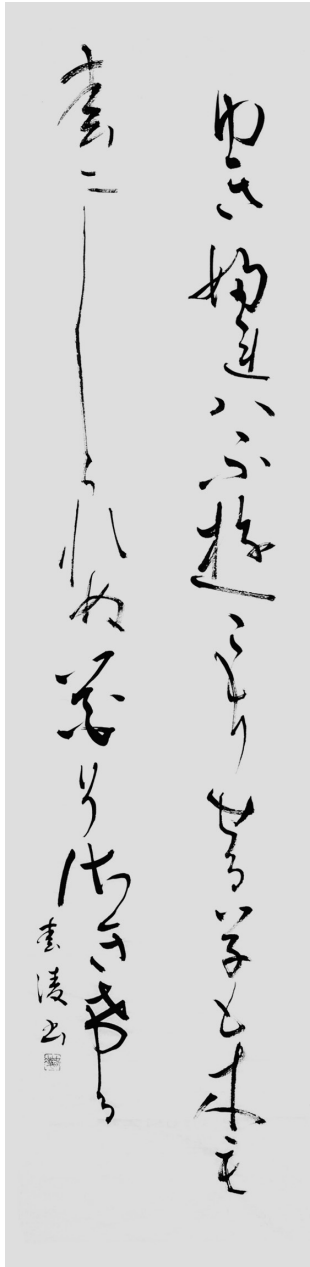
雪ふれば冬こもりせる草も木も春に知られぬ花ぞさきける (古今和歌集 紀貫之)
雪婦連は冬故茂り勢久佐も木も春尔しられぬ花楚左幾介流



B

武井春凌先生書

ゆき婦連八ふ遊こもりせる草も木も春二知られぬ花曾佐さきける



紀貫之

生年不詳、天慶九(九四五)年没。紀望行の子、紀時文の父。紀友則は従兄。土佐守の任期を終えて帰京する迄の事を、女性に仮託して書いたのがかな日記の始まりとされる「土佐日記」。古今和歌集は、代表的撰者にして歌の名人。三十六歌仙の一人。

方 び 学

歌意―雪が降ると冬籠りしている草も木にも春には見たことのない真っ白の花が咲くのだなあ

二行書で表現しました。

「ゆき婦連八ふ遊」まで、墨量を多目にして書き出し、横幅のある字形を使用し、左行は、縦長の字形を使い、右行との響きあいを考慮しながら書き、「しられぬ」で渴筆にし「花」で墨を入れます。

予告 (二月二十二日締切)

明日よりは春菜つまむと標めし野に昨日も今日も雪はふりつつ (万葉集)

- ◆注意 ・条幅部の出品は一人一点(バーコード券の条かを○で囲み(1)と記入する。)
- ・二枚目からの出品(バーコード券の条かを○で囲み()に何枚目か数字を記入する。出品料525円)

高橋紫芳先生書

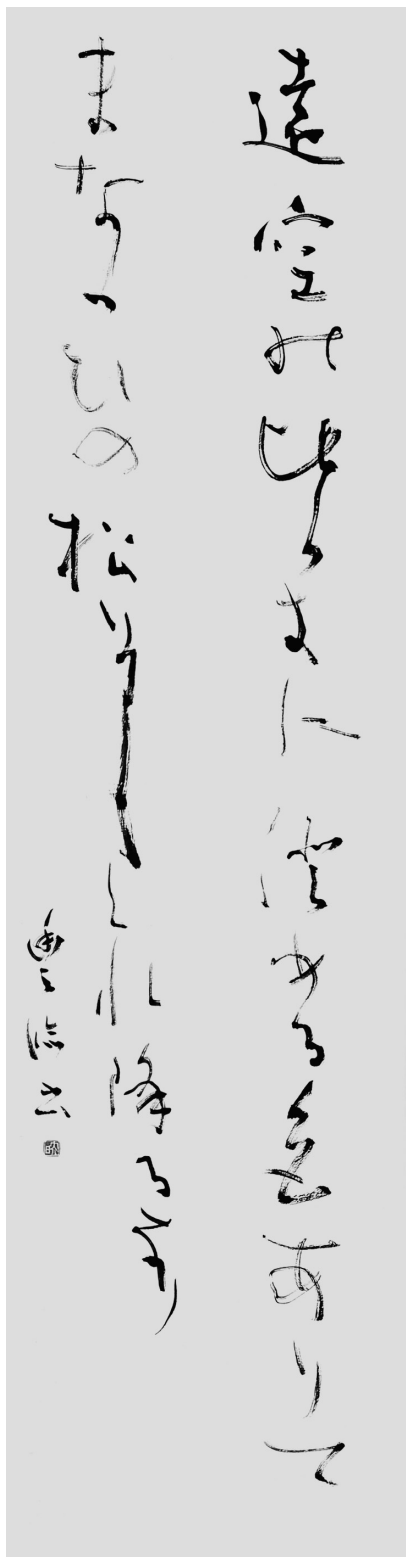
雪中放馬朝尋跡 雲外聞鴻夜射聲（羅虬）
 雪中馬を放つて朝に跡を尋ね、雲外鴻を聞き夜を射る。



訳：雪降る中に馬を放して翌朝その足跡を尋ね、空高き夜の雲に雁声をめあてに矢を放つのである。

吉原豊臨先生書

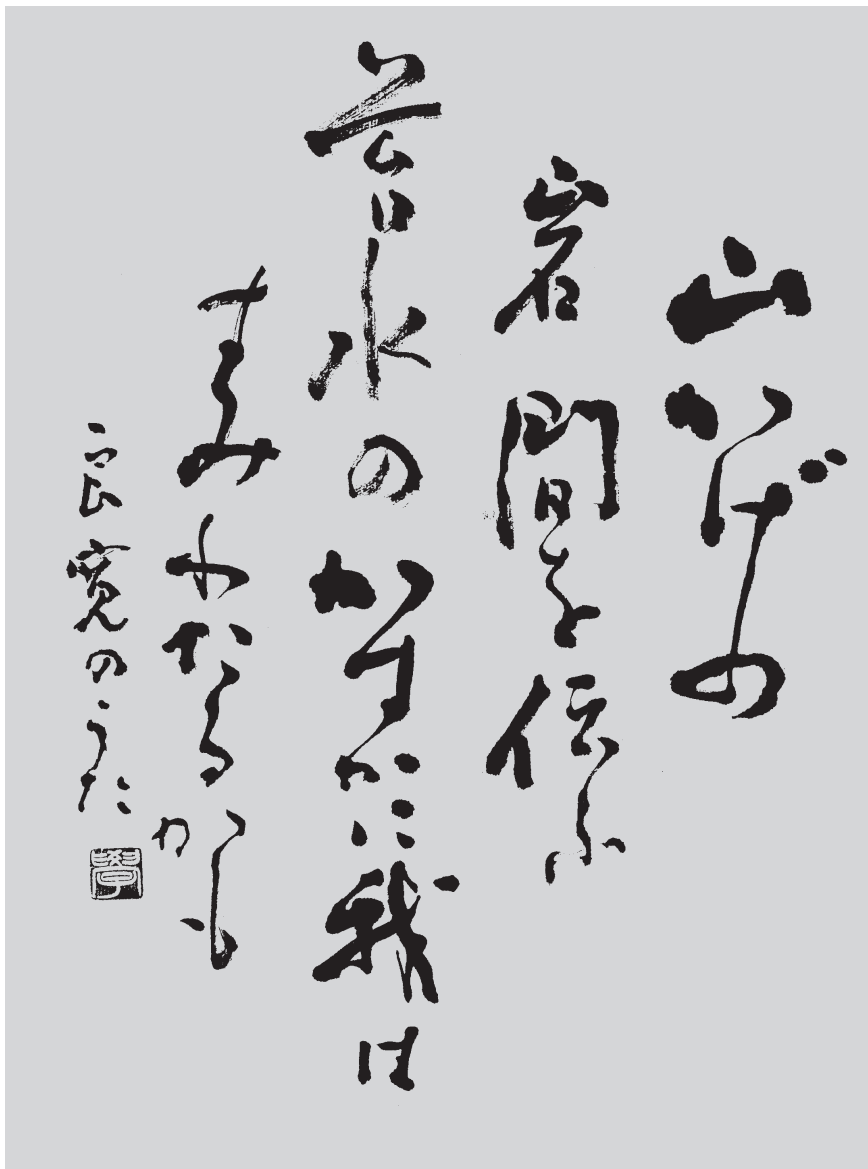
遠空の低きに澄める色ありてまなかひの松にしぐれ降るなり（吉野秀雄）
 遠空能比く支に澄める色ありてまなかひの松し久れ降る奈り



- ◆注意
- ・条幅部の出品は一人一点（バーコード券の条随を○で囲み（1）と記入する。）
 - ・二枚目からの出品（バーコード券の条随を○で囲み（ ）に何枚目か数字を記入する。出品料525円）

鈴木静村書

漢字かな交じり書の基調の一つとされる読み易さ、その第一点は「句切れ」この句切れを効果的に表出したい。今回作を書き終えて、眺め入り気付いたこと等々――。



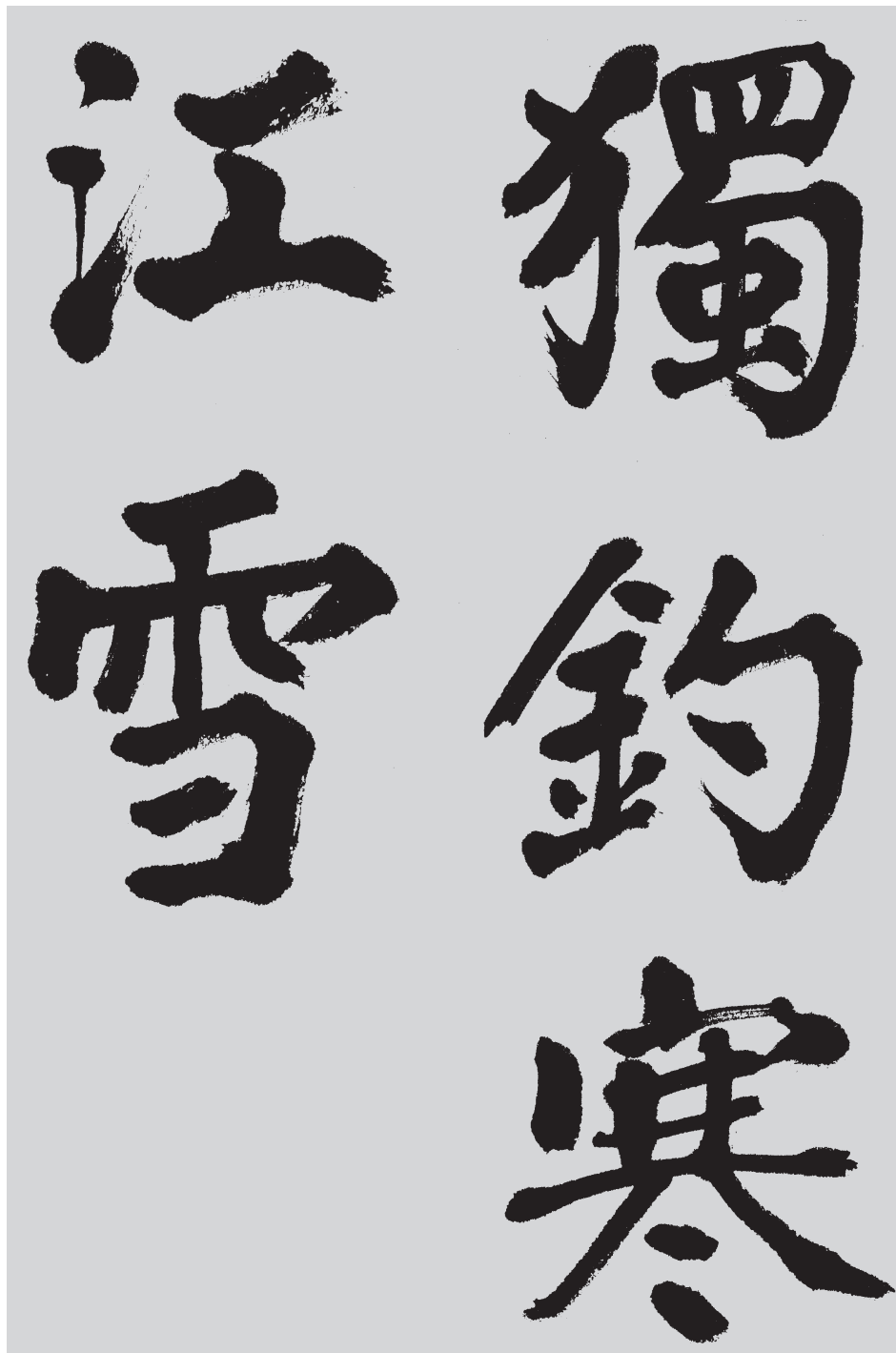
- ・一行目 三字連綿はややうるさい。どちらかを切って。
- ・二行目 かな二文字。弱くならぬよう。
- ・三行目 主調部分。「苔水の」までひと筆。「かすかに」墨継ぎ。

- ・四行目 太細、揺れ等に留意。
- ・落款 「良寛のうた」に印一顆で締め。
- ・大事なことは、半紙全体への広がり意識に口誦みつ、リズムを書く気持ち――。

山かげの
岩間を伝ふ
苔水の
かすかに我は
すみわたるかも
(良寛)

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。出品料525円。

- ①バーコード券右空欄に漢かと記入 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新



平岡華雪先生書

獨り釣る寒江の雪（柳宗元）

訳：雪の寒江に独り舟を浮かべて釣をする。

（二つのポイントに気合い）

特に「獨」の「獸偏」の用筆と「釣」の二字にある転折（フ）。獸偏は書

き出しの画でありリズムが大切。これで失敗するとこの字全体に影響。二つの

「フ」は、骨力を加え、ハネもスッキリと。

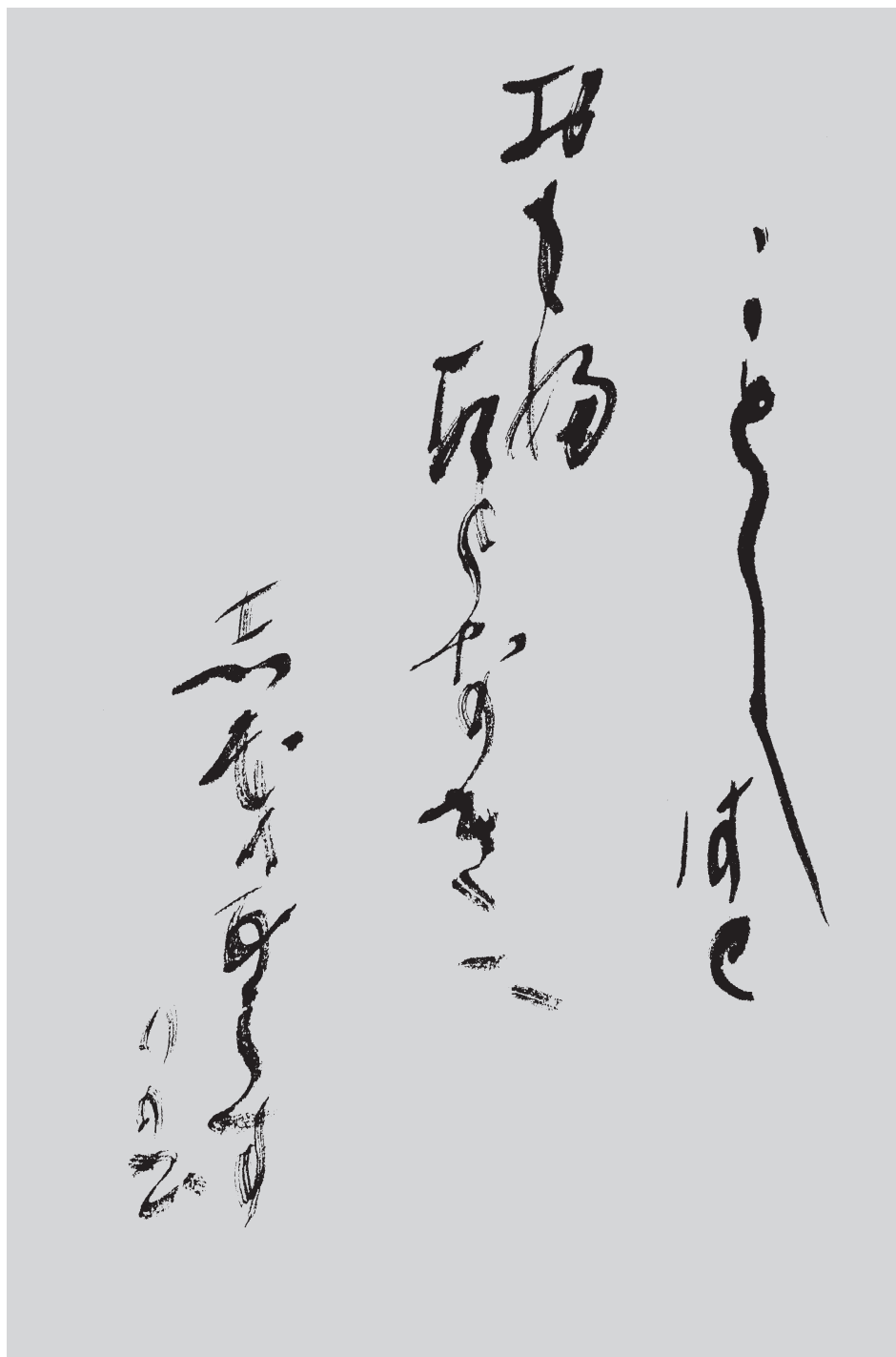
「寒」一画目強く、九画目直線的、十一・十二画目軽く。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙（3×4 cm位）に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

平岡華雪先生書

今年はと思ふことなきにしもあらず (子規)
 ことしはおも婦故となき二志茂あらず



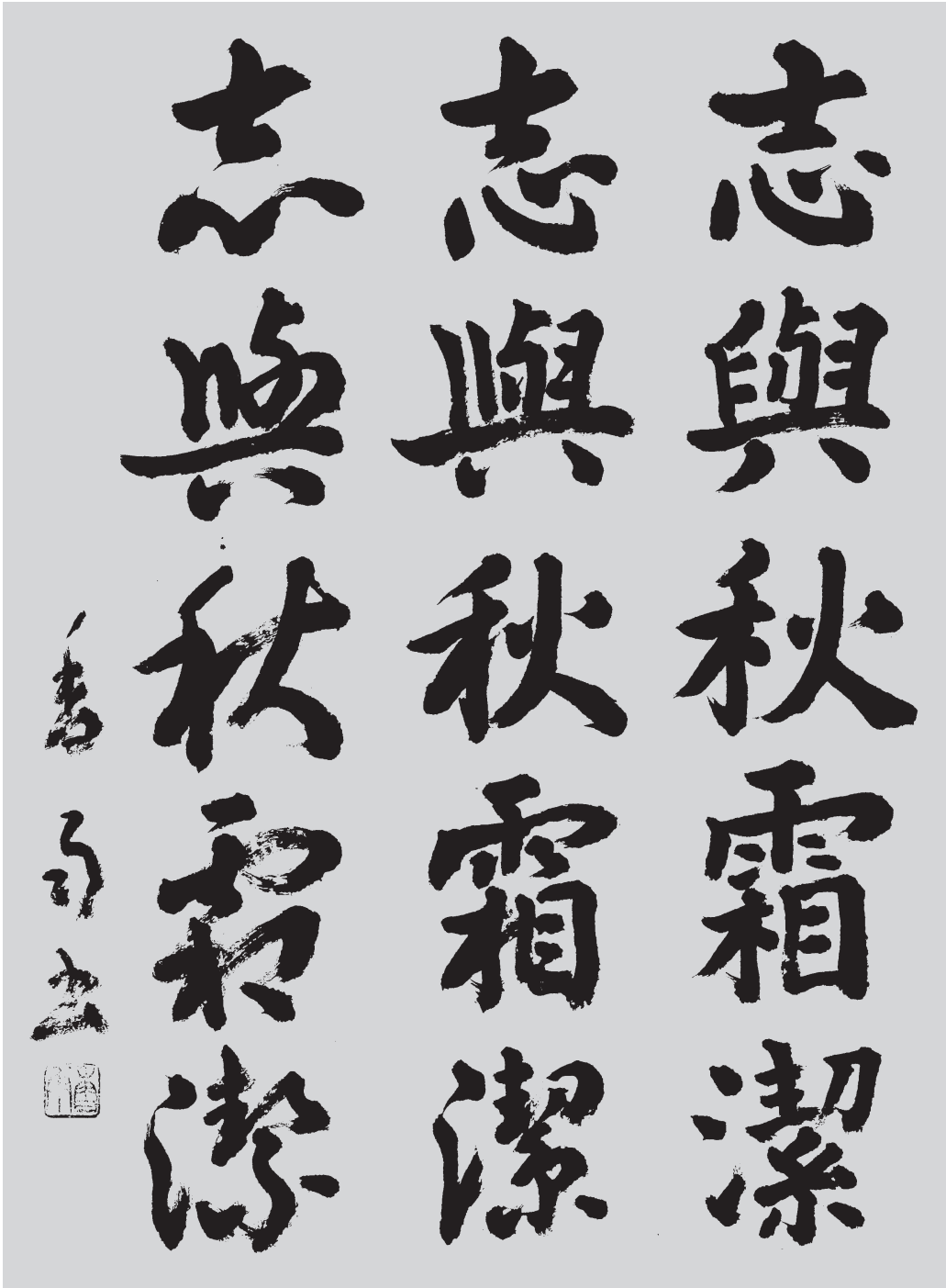
〈緩急のリズムを「初歩段階者」へ〉
 筆意の表われがはっきりした手本を採りました。特に、初歩段階の人は、中の句の動きを味わって下さい。自分の感覚で指書し、そして筆へと移してみる事です。下の句と落款の群も同様試みて下さい。何としても、リズムです。リズムを覚え込む事です。

◆注意…はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位)に次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。会員は無料、会員外出品料は420円。

- ①漢字部 ②支部名または都道府県名 ③氏名または雅号 ④新

酒井香雨先生書

志與秋霜潔（唐太宗）
こころざししゅうそう 志 秋霜と与に潔し。
とも きよ

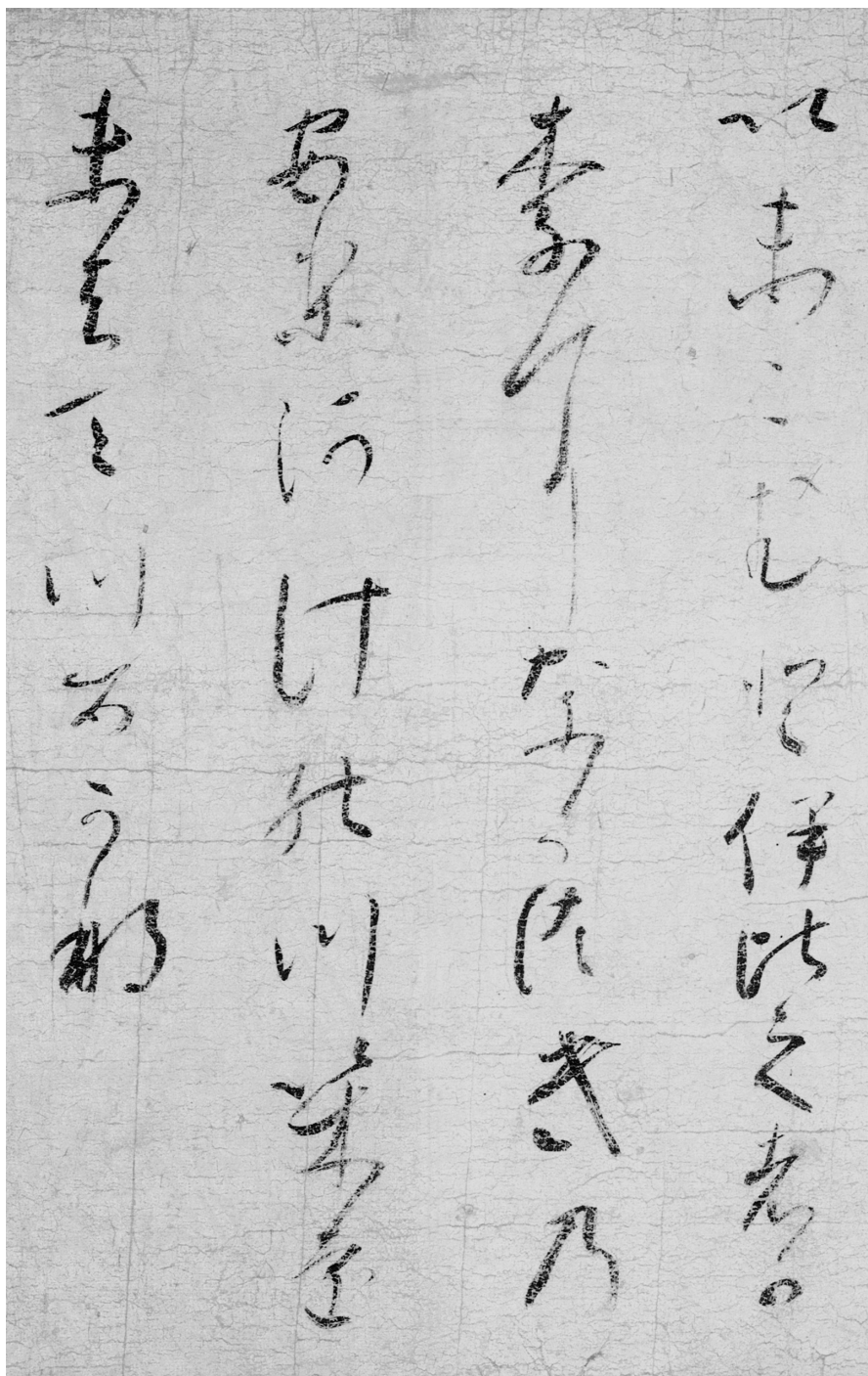


訳：心は朗日に隨うて高しと

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

十五番歌合 伝藤原公任筆

以末己武登伊比之者可
いまこむといひしばか
李耳奈可徒幾乃
りにながつきの
安梨阿計能川幾遠
ありあけのつきを
未知天川留可那
まちてつるかな



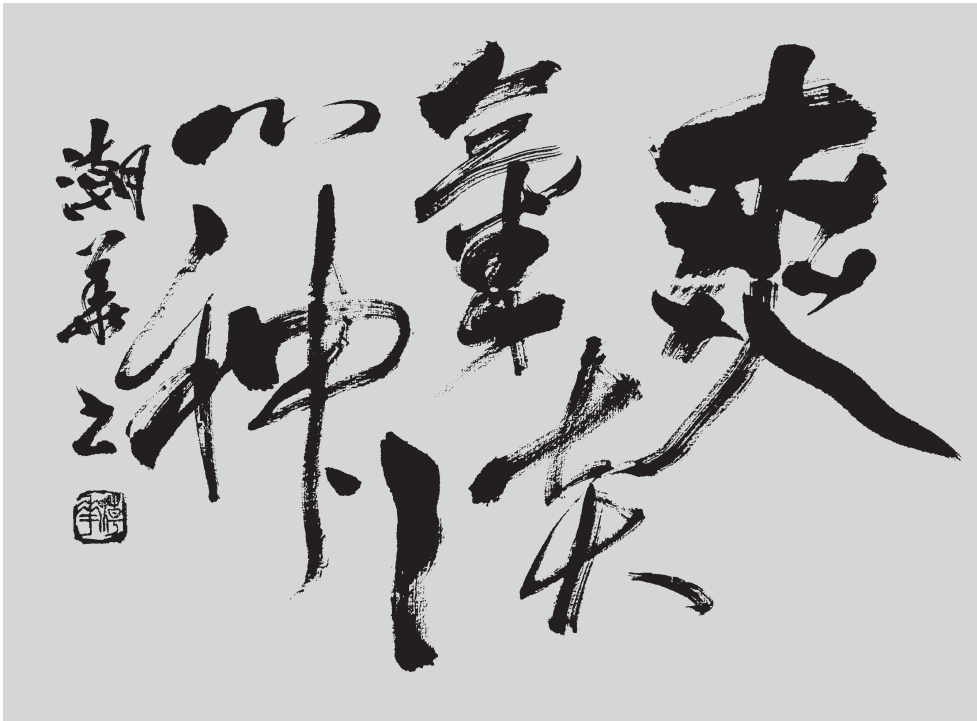
藤田美術館蔵

1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円

随 意 部 参 考

水貝 潮 華 先 生 書

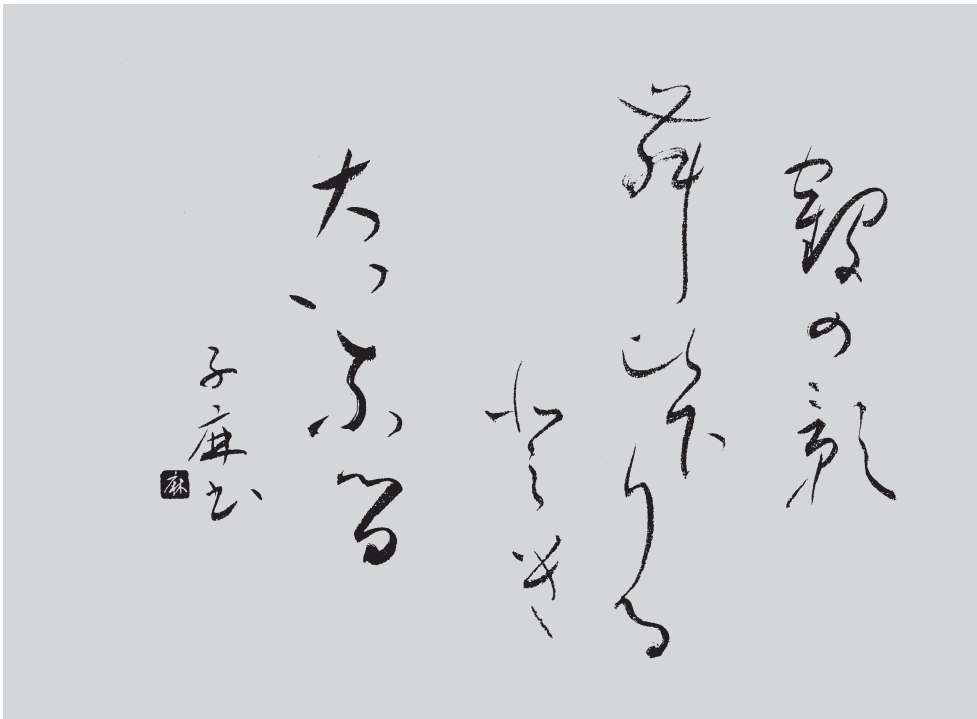
爽氣淡心神（凌樹屏）
爽氣心神淡たり。



訳：さわやかなる気は精神心情をして淡泊にならしめる。

林 子 麻 先 生 書

鶴の影舞ひ下りる時大ひなる（久女）
鶴の影舞比下りる登幾大い奈留



1. 随意部参考として出品してください。
2. 会員外の出品料は420円。

松浦江波先生書

石原春香先生書

課題2 (初段階以下)

課題1 (初段階以上)

どうでもよいことは流行に従い、
 重大なことは道徳に従い、
 芸術のことは自分に従う。

枯野の色がこんなにも暖かいのは、
 枯れるというものの終りをみせながら、
 内実として保たれている生命感が、
 豊かなせいだろうか。

課題1 (初段階以上)

枯野の色がこんなにも暖かいのは、
 枯れるというものの終りをみせながら、
 内実として保たれている生命感が、
 豊かなせいだろうか。

「歌の彩事記」

馬場あき子

◆注意

- (1) 自分の段級に合った課題を選択。
- (2) ペンまたはボールペン(黒色)を使用のこと。青インクは不可。
- (3) 段級欄は本人が記入(色は黒)はじめて出品される方は私製の紙(3×4 cm位) 次の4項目を記入して作品左下隅に貼って出品して下さい。①硬筆部②支部名または都道府県名③氏名または雅号④新
- (4) 会員は無料・会員外は四二〇円

課題2 (初段階以下)

どうでもよいことは流行に従い、重大なことは道徳に従い、芸術のことは自分に従う。

小津安二郎のことば